

4 漁業生産

1. 沖縄県におけるイカ類漁獲量の変動 (S.37~S.46)

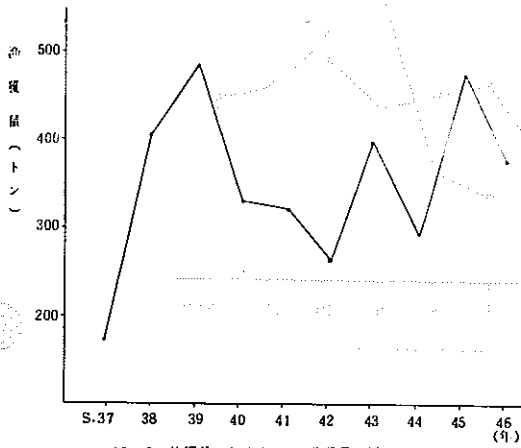


図-6 沖縄県におけるイカ類漁獲量の年変化

沖縄県のイカ類漁獲量はS.37年最低で173トン、S.39年最高で485トンで年変動が激しい。(図-6)

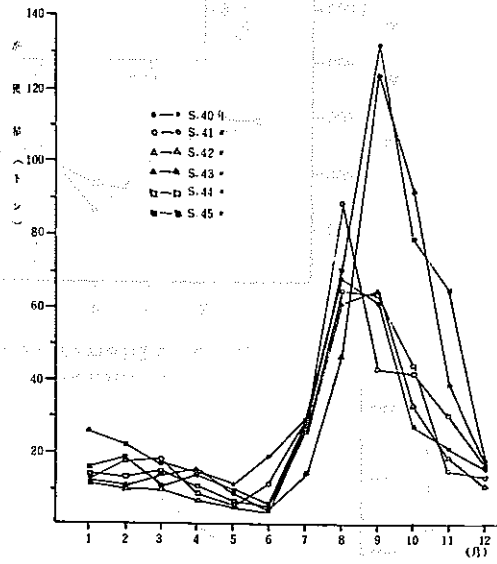


図-7 沖縄県におけるイカ類漁獲量の月別変化 (S.40~S.45年)

S.37~S.39年にかけては急激に増加し、その後、S.42年までは年々減少傾向を示し、42年を境に46年まで、年変動はあるが全体として増加傾向を示している。月別変動については図-7に示した。それによると漁獲量は1~6月まで減少傾向を示し、5~10トン前後となる。7~9月にかけては急激に増加し、最高132トンを示した。10~12月にかけては次第に減少傾向を示す。7~9月の漁獲増はトビイカが急激に増加するためである。

2. 各地区におけるアオリイカの漁獲量

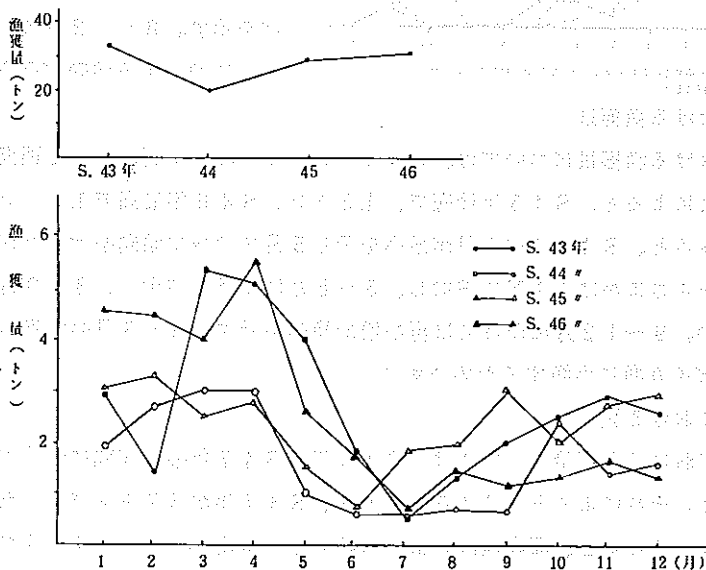


図-8 那覇地区漁協におけるアオリイカ漁獲量の年変化および月別変化

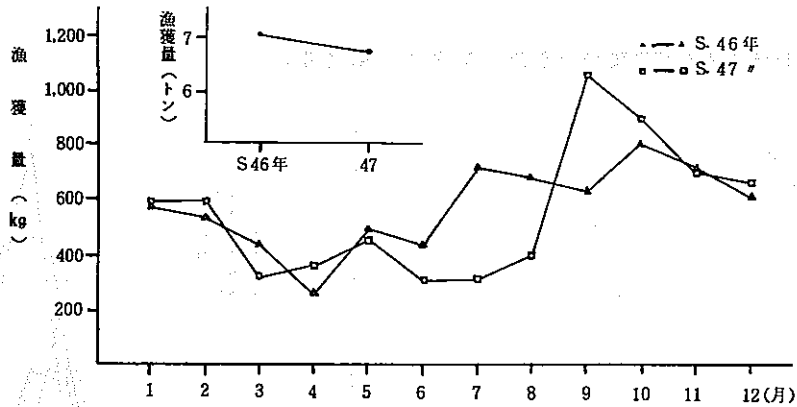


図-10 勝連村漁協におけるアオリイカ漁獲量の経年変化および経月変化

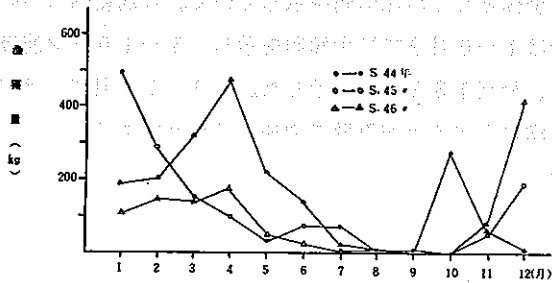
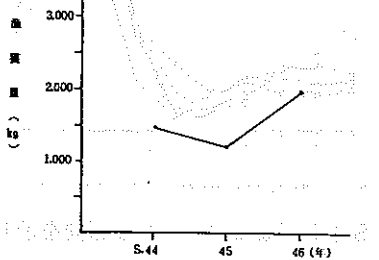


図-9 糸満漁協におけるアオリイカ漁獲量の経年変化および経月変化

(1) 那覇地区漁協における漁獲量

那覇地区漁協における漁獲量については、S.43～S.46年について調査し、図-8に示した。それによると、S.44年最低で1.9トン、S.43年最高で3.3トンである。S.45、S.46年はわずかながら増加傾向を示している。

月変動では、1～4月まで増加傾向を示し、5月～7月にかけては減少傾向を示す。8～12月にかけては、わずかに増加する傾向がみられる。

(2) 糸満漁協における漁獲量

糸満漁協における漁獲量については、S.44～S.46年の3年間について調査し、図-9に示した。それによると、S.45年最底で、1.2トン、S.46年最高で1.9トンである。

月別変化をみると、S.44年は1月が最高を示し5月まで減少傾向を示したが、S.45年S.46年は1～4月にかけて次第に増加し、5～8月にかけて減少し、8～9月にはほとんど漁獲されない。9～12月にかけては再び増加傾向を示す。8～9月の漁獲減少はほとんどの漁船がトビイカ漁に出漁するためである。

(3) 勝連村漁協における漁獲量

勝連村漁協における漁獲量については、S.46年、S.47年の2年間について調査し、図-10に示した。それによると、S.46年7トン、S.47年が6.7トンであった。

月別変化についてみると、那覇地区および糸満漁協とは逆の傾向を示す。すなわち1～4月に減少傾向、4～9月に増加傾向がみられる。